

2020 関西高校ボート部応援日記

(^{むらさき}紫 ^{きょう}香 ^ぶ部 ^に日 ^き記)

いずれの御時にか野球部体操部あまたさぶろひたまひけるなかに、
いとやむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時めきたまふありけ
り・・・ボート部なりけり。

男もすなる日記といふものを、女もしてみむとてするなり。心に映
りゆくよしなし事をそこはかたなく書きつくれば、あやしゅうこそ
ものぐるほしけれ。

2020 関西高校ボート部応援日記

—紫香部日記—

第一部

新人戦(秋季大会・選抜岡山県大会)・・・4p

選抜中国大会・・・8p

マシンローイング大会 岡山B・・・13p

第8回近畿ウインターズカップ・・・17p

近畿・愛媛マシンローイング大会・・・20p

表彰ラッシュ・・・22p

禊・・・24p

新しい一年が始まる。この日記は国体終了とともに一年が終わる。秋風が吹き始め日が短くなる頃なので一層寂しさを感じる。毎年夏の暑さが厳しくなり、台風も強さ大きさがどんどん増している。去年は岡山の真備が甚大な被害を受けた。今年も千葉が17号で広い範囲で災害を受け何週間も電気が復旧せず、ブルーシートだらけの家々がニュースの映像で映し出されています。それでも、毎週毎週末には次が発生し茨城国体も影響を受けました。そして、10月12日19号がすっぽりと日本上空を包み込み関東・北陸・東北に甚大な被害をもたらしました。多くの河川で堤防が決壊し、車が流され家が浸水し、田畑が水没しました。ボートの世界でもあちこちで開催予定の大会が中止される中、岡山から西は影響がほとんどなく、13日の市民レガッタは公式練習は無くなったものの無事開催されました。有難い事ですね。



また、13日の試合が危ぶまれていたラグビーの予選大会『日本v s スコットランド』も行われ、日本は予選リーグ4戦全勝で勝ち上がりました。災害で浸水した地域でも被害が少なく無事であった人達もこの時ばかりはテレビの前で熱のこもった応援を繰り広げていたようです。私はテレビを見ながら被害にあった人達への申し訳なさ何事も無く生活できている事に感謝の気持ちが溢れました。

さあ、気を取り直して新しいチームを応援していきましょう。20日には新人戦があります。これ以上の台風がやって来ない事を祈りながら。



勝利を運ぶ猫

ルーちゃんです

新人戦(秋季大会・選抜県予選)

10月20日(日)、暑くも無く寒くも無い殆ど無風の静かな状態でレースは始まった。私は本日、線審を担当しました。スタート地点でバウボールを揃える仕事です。3年生がステッキボートに乗り込みボートホルダーとしてお手伝いしてくれました。ステッキボートに運んでくれる漁船のおじさんが話しかけていました。

「君ら関西か?国体で乗ったんか?」

「国体には行きましたが、リギングしてました。」

おいおい!そこは小橋が答えんか!!

一年ぶりの線審は色々忘れてる事が多くて焦りました。しかし、何とか3レース無事に終わりひと段落。

1	尾崎 心音	(備前緑陽B)	・・・	4'17"23	6
2	中山 創	(岡山東商業C)	・・・	4'24"18	5
3	渡邊 圭	(岡山操山C)	・・・	4'15"99	4
4	森 大和	(関西C)	・・・	4'09"63	3
5	前田 拓海	(岡山東商業A)	・・・	4'04"84	1
6	山脇 岳士	(関西A)	・・・	4'01"57	2

スタートしか見られませんが関西2艇のスタートダッシュは見事でした。でも、その後曲がる曲がる (笑)

2	伊原 三晶	(備前緑陽A)	・・・	4'04"06	4
3	蒲原 和晃	(岡山操山A)	・・・	4'06"54	2
4	内田 優希	(関西B)	・・・	4'01"89	3
5	矢部 大翔	(岡山東商業B)	・・・	4'17"46	5
6	高橋 京之助	(岡山操山B)	・・・	4'44"40	6

三人全員予選通過でホッとしたのは、レース時間が一時間空いた時。清水コーチにご挨拶した時です。通過した事よりダブルの心配をされてました。

再びスタート地点に戻ると、ボートホルダーが交代していました。またまた、漁船のおじさんが

「君ら、国体に乗ったんか??」

「はい!」

神馬が答えていました。

「勉強は出来るんか?大学には行くんか?どこの大学に行くんか?」と矢継ぎ早に質問され「勉強できないからそれなりの大学に行きます。どこかは未だ内緒です。」とよくできましたと褒めてあげたい受け答えでした。神馬は空き瓶に捕まえたカニを入れて持っていました。おじさんに食べられるかと聞き「こりゃ、食べれん」と言われてガックリ。ステッキボートにも一緒に乗り込み『カニ太郎』と名前まで付けていました。

ダブルスカル

- 1 東岡山工業・・・ 4'35"85 5
- 2 備前緑陽・・・ 3'54"80 4
- 3 岡山東商業A・・・ 3'27"29 1
- 4 **関西B**・・・ **3'44"19 3**
- 5 **関西A**・・・ **3'29"53 2**
- 6 岡山東商業B・・・棄権

清水コーチの心配が現実になってるじゃん！東岡工は部員が居ないので来年には廃部になると聞いた。

クォドルプル

- 3 **関西A**・・・ **3'13"64 1**
- 4 **関西B**・・・ **3'30"43 3**
- 5 岡山東商業・・・ 3'24"87 2

スタートからAが先行し、Bと東が競っていた。

シングル決勝

- 1 蒲原 和晃 (岡山操山A)・・・ 3'50"36 3
- 2 **森 大和 (関西C)**・・・ **4'07"03 6**
- 3 前田 拓海 (岡山東商業A)・・・ 4'00"42 5
- 4 **内田 優希 (関西B)**・・・ **3'49"20 2**
- 5 伊原 三晶 (備前緑陽A)・・・ 3'47"65 1
- 6 **山脇 岳士 (関西A)**・・・ **3'54"51 4**

レース時間がずれる。一旦は綺麗に並んだのに・・・。どうやら、次の女子シングルの一人が練習水域で”沈”した模様。関西クォド艇が救助に向かったと連絡があった。緑陽の伊原君はギリギリ(2分前)までステッキボートに付かなかった。何かの作戦かなあ？関西二人ともスタートは良かったんだけどなあ。

6レーンのボートホルダー2人は指示を出さなくても動き、なかなか良い位置に停めてくれていた。ボートホルダーとしては天才的かもしれない。ステッキボートには二人ずつ乗っているが一人だけ残して陸に上がり残りは漁船に引かれて発艇場所まで戻るようにスピーカーフォンで指示していたら無線で知らせが入った。

「スピーカーフォンで・・・しないで下さい。」

ダメなの？？何で？？…私たちじゃないみたいだな。

→またまた、審判長を怒らせたな！！表彰式の後のお話で納得しました。備前緑陽の服部先生がメガフォンではなくスピーカーフォンで伴チャリしたそう。今回は厳重注意で済んだがヘタするとクルーが失格となりますとみんなの前で赤っ恥をさらした。何やってるんだか・・・。

最終レースの女子シングルについて。一度陸に上がりスタートまで上がる間しこたま待

たされた。3艇レース他の2艇の選手はどんな気持ちだったろうか？大きな大会なら2分前までに来ていなかったら棄権とみなすか失格ですが、優しい審判団は待ちました。上がってきた選手にお詫びをするよう促し、2選手に謝っていましたが、ほとんど無視状態でした。で、待たせた子が勝っちゃうんだもんなあ。やっつけられんよなあ

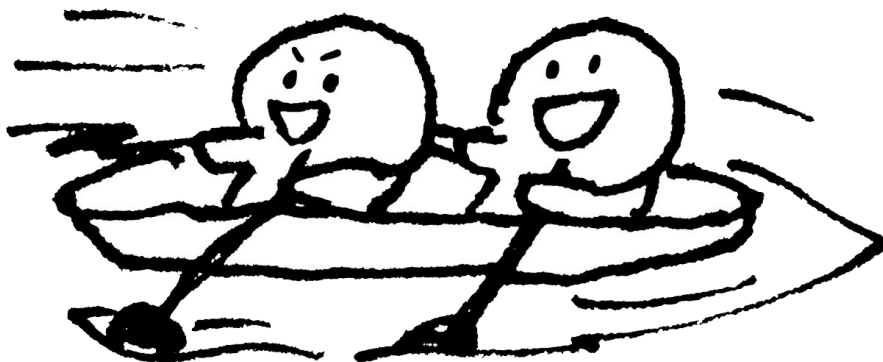
もう1つ、スタートした後ボートホルダーが自分のチームの応援をし始めた。良いの??と一瞬思ったが、こんな場合の対処法は習っていない。これも後に注意を受けた。何故ならボートホルダーは審判の領域で公平ではない立場です。応援するという事は誤解を受けかねないからです。例えば、腕を伸ばして有利にした。とか、艇を押し出した。とか、早く手を離したと思われます。森川先生も関西もしたんじゃないかと心配されていました。私は女子の声しか覚えが無かったので大丈夫なんじゃないかな?と答えました。



森川先生のお言葉

結果は周知のとおり、クオドのみが優勝し、11月の中国大会に駒を進めました。ダブル・シングルはいずれも惜敗。しかし、負けは負け。『勝負に不思議な勝ちなし！ 不思議な負けなし！』です。勝負は勝たなければ意味がないのです。自分に何が足りなかったのか？をしっかりと検証して、次にどうすればよいか？何をしなければならないか？を考え、今後の糧にしなければなりません。同じ失敗を繰り返すのは「アホ」です。アホは永遠に勝てません！レース後、頭に浮かんだことは神様の声。その声を決して忘れることなく、「悔しさが原点」として必ずや自分の目標を達成して、新しい自分を見つけて欲しいです。目標のないところに努力はありません。

また、大会の片付け後、私は選手たちにこう言いました。「結果はクオドのみが優勝して中国大会に進むことになった。各種別・各クルーについてはレース後それぞれに言うたからゴチャゴチャ言わん。お前ら、チーム全体としてこの結果についてどう思う？去年と比べてどうなんや？！ 去年のこの大会は少ない2年生（5名）でダブル・クオドで優勝し、2種目中国大会出場。その中国大会でも2種目揃って優勝し、春の全国選抜大会出場権を獲った。が、今年はクオドの1種目のみ中国大会出場。結局、中国大会のダブルの優勝トロフィーは開会式で返還するだけになった。これほど悲しいことはない！何が言いたいかという・・・『チーム力』が低すぎるということや！ たまたまクオドに主将・クルー長・副将が乗ってるけど、自分が乗ってるクルーだけが勝てばええんとちゃうでえ！ チームの幹部である以上、全てを勝たせんとあかんのじゃ！！ 関西は負けたらあかんのじゃ！ お前ら、まだ『One Team』になってない！！ 何かしらチームがバラバラじゃ！ 本当の意味での「助長」をせええ～～～！



選抜中国大会 in 豊田湖

11月3日山口県の豊田湖で・・・。遠いなあ中国大会は全部芦田川なら良いのにと毎回思います。私事で9月より忙しくしているせいか、念を送る事も出来ず夕方結果を知りました。

令和 元年度		競漕委員長	審判長	判定長
全国高等学校選抜ボート大会		森川	藤井	天竜
中国地区予選会				
11月 3日 発艇時刻 11時 3分				
男子 女子 1× 2× 4×				
レースNo.	レーン	クルー名	着順	タイム
	1	関西	1	3 15 30
	2	松江東	2	3 24 06
6	3	鳥取東	4	3 25 57
	4	西市	5	3 51 02
	5	広島工業大学高校	3	3 24 12

天竜へ行けるぞ!!
9秒差のぶっちぎりだぞ!!

森川先生のお言葉

保護者の皆様におかれましては対岸より熱い応援ありがとうございました。お陰さまで秋の中国大会、2年連続19回目の優勝です。保護者の応援は豊田湖の湖面いっぱいに広がっていました。私はゴール付近の艇庫2Fの本部からレースの様を見守っていました。たぶん保護者の方々が陣取っていたのは700m付近、レースの一番苦しいところであり、加速が鈍りスピードの落ちるところです。しかし、関西クルーは保護者の大声援「いけ、いけ、カンゼイ！強く長く！」を聞いた瞬間、さらにスピードアップしたように感じました。つくづく親の応援は凄い！と思いました。特にお母さんの声は彼らにバッチリ聞こえたのではないのでしょうか？あれはまさに胎動です！！(言い過ぎか？！) あっ、私はといえば、今大会の委員長ゆえに一切応援することは出来ません。心の中で関西クルーの「Get Ahead」を念じるしかありませんでした。

昨日のレースは全て一発決勝。予選・敗復などありません。負ければ終わりなのです。そういったことで私は選手たちにこう指示していました。「今日は一発決勝。たった3分少々で決まる。どうすればいい?? 思い切るだけや！お前ら、勝ちたいと思ってるだろうけど勝とう勝とうとしたらアカン。勝とうとしたら焦る。勝とうとせずにスピードを出すことだけに集中せえ！そのために頭を空っぽにせえ。そして、最後にスマイルと感謝や！対岸の関西サポーターの応援を見てみい。朝早くからぎょうさん来てくれてるでえ。感謝の気持ちを持っていこうや！」うちの選手たちはその指示を守ってくれたのではないのでしょうか？



優勝のご褒美です



11月11日、何故か山本卓がボートクラブで練習していた。



12日は浜寺で乗艇練習もしていた。

ロングレース

11月17日。6000T.Tを漕ぎ切った。COX2人がダブルで出場したが、何往復もするレースは誰がトップなのかどれだけ後続の艇に抜かれたのか見ているサッパリ解からないのが悲しい所です。

御礼参り

11月24日、先生が一人で安仁神社へ出かける。令和元年の国体優勝のお礼です。

岡山市長表敬訪問

11月28日3階の会議室にて





国体優勝祝賀会

11月30日(土)午後1時30分よりプラザホテルにて

100名の参加者を賜り盛大に催されました。私は行ってませんが・・・大学の監督や元監督、ボート協会そして、たくさんのOBやOB保護者が駆けつけてくれました。二次会どころか三次会・・・六次会まであったそうな。どんだけ元気なんや!!



修学旅行

二年生が北海道へ、東京へ、グアムへ飛んだ。先生も引率で北海道でスキーを楽しんだ。

東京組はスカイツリーに上りディズニーシーで遊び浅草や原宿を闊歩し、もんじゃを頬張った。

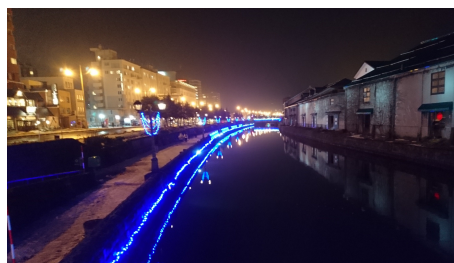


タイミング良くラグビー選手たちのパレードに出くわしていた。

グアムの浅野はこの写真のみでした



北海道組はキロロで滑って転んで、海鮮やジンギスカン・ラーメンと食い



放題状態に。小樽運河を散策し、奇跡の旭川動物園で戯れました。